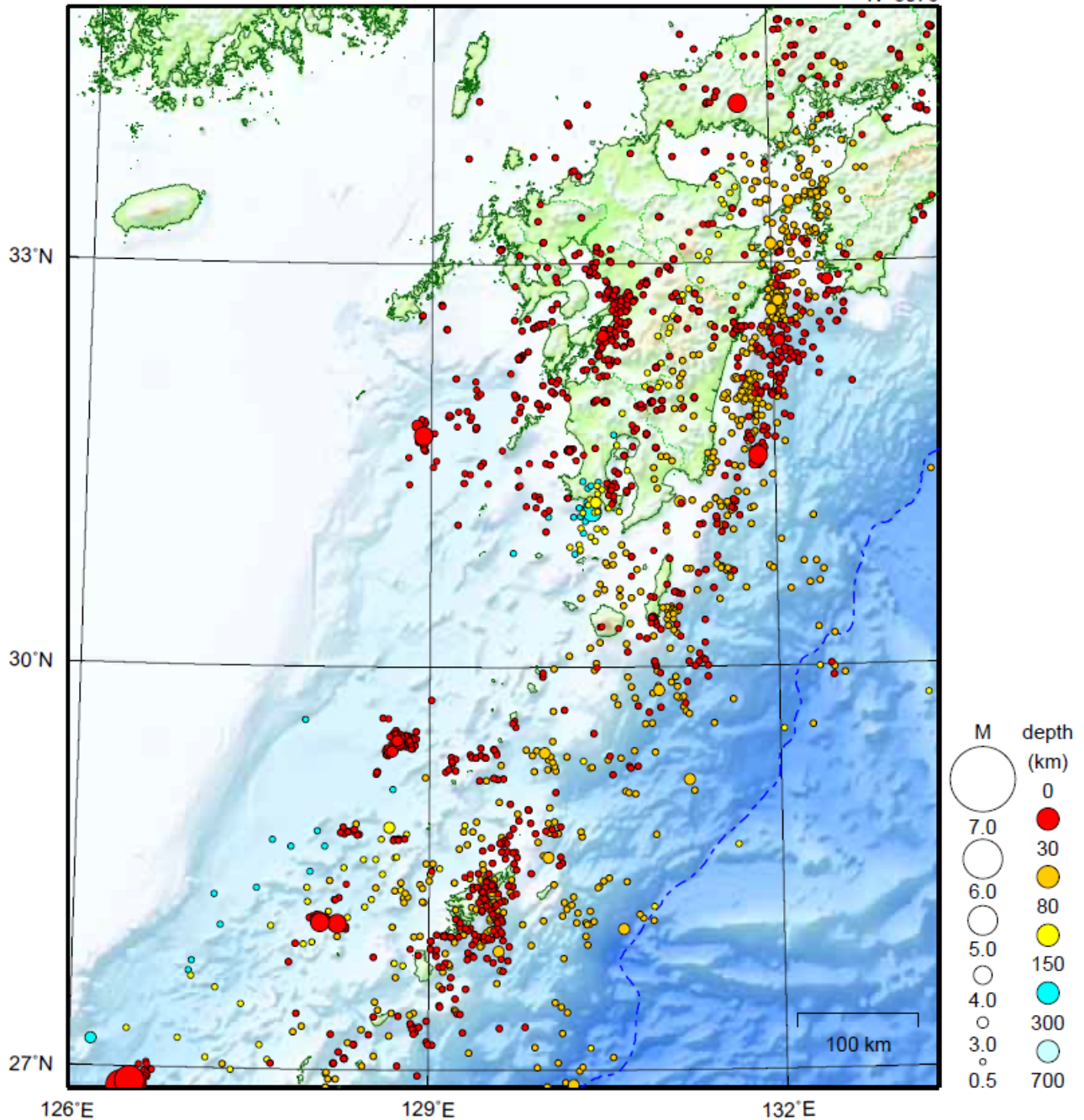


九州地方

2022/04/01 00:00 ~ 2022/04/30 24:00

N=3076



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOPO30、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

特に目立った地震活動はなかった。

(上記期間外)

5月2日に日向灘でM5.0の地震(最大震度3)が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

5月2日 日向灘の地震

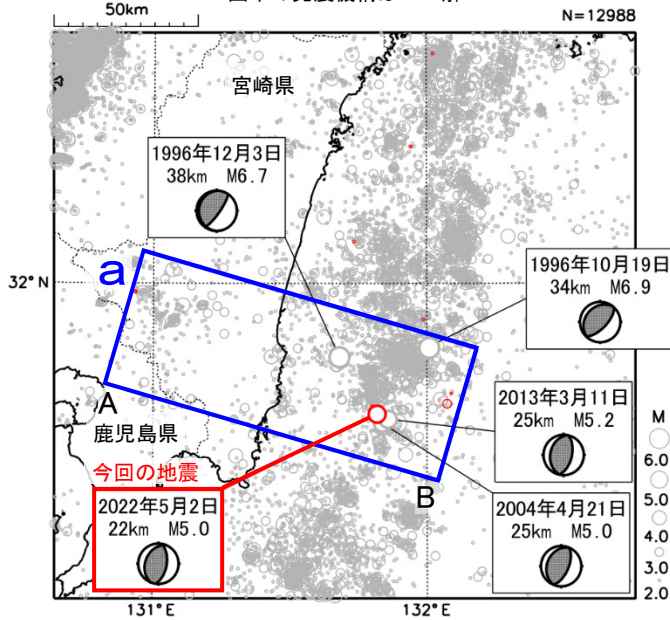
震央分布図

(1994年10月1日～2022年5月8日)

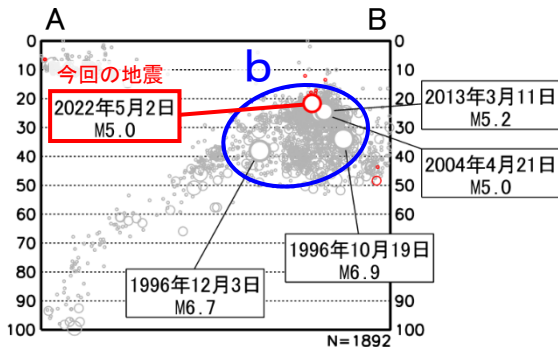
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$

2022年5月の地震を赤色○で表示

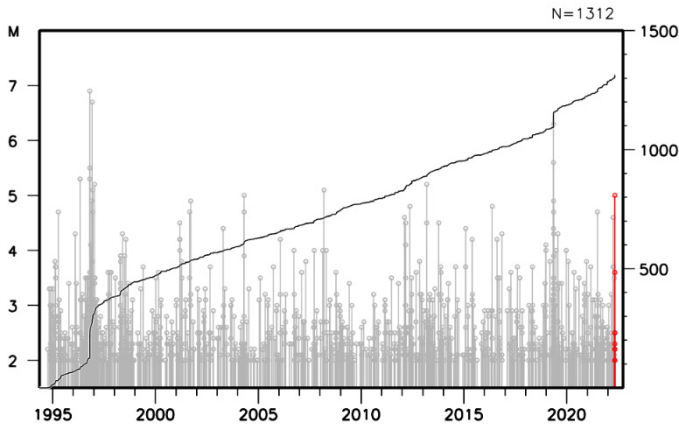
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



2022年5月2日16時08分に日向灘の深さ22kmでM5.0の地震 (最大震度3) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

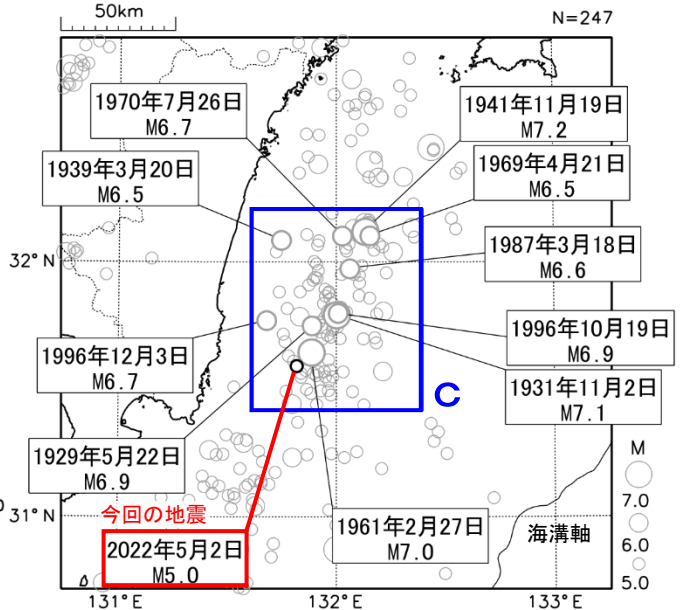
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM5.0以上の地震が時々発生している。1996年10月19日に発生したM6.9の地震 (最大震度5弱) では、高知県の室戸市室戸岬、土佐清水で14cmなどの津波を観測した。また、1996年12月3日に発生したM6.7の地震 (最大震度5弱) では、宮崎県の日南市油津、高知県の土佐清水で12cmなどの津波を観測した。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震が時々発生している。1931年11月2日に発生したM7.1の地震では、死者1人、負傷者29人などの被害が生じたほか、高知県の室戸岬で最大85cm (全振幅) の津波を観測した (被害は「日本被害地震総覧」による)。

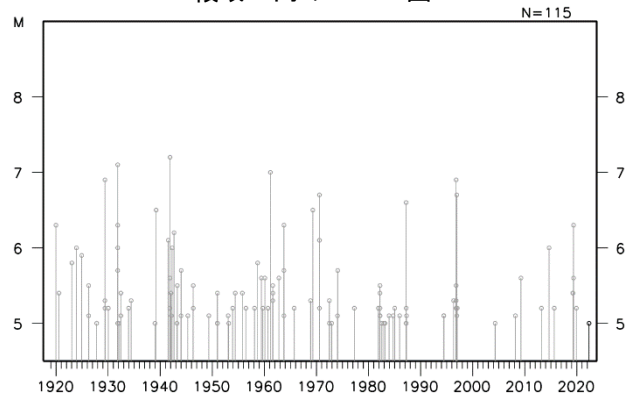
震央分布図

(1919年1月1日～2022年5月8日、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

今回の地震と $M \geq 6.5$ 以上の地震に吹き出しを付けた



領域c内のM-T図



気象庁作成